

日本たばこ産業株式会社 東海工場



所在地

静岡県磐田市西之島78-3

事業内容

たばこ製造業

設立

昭和54年（1979年）

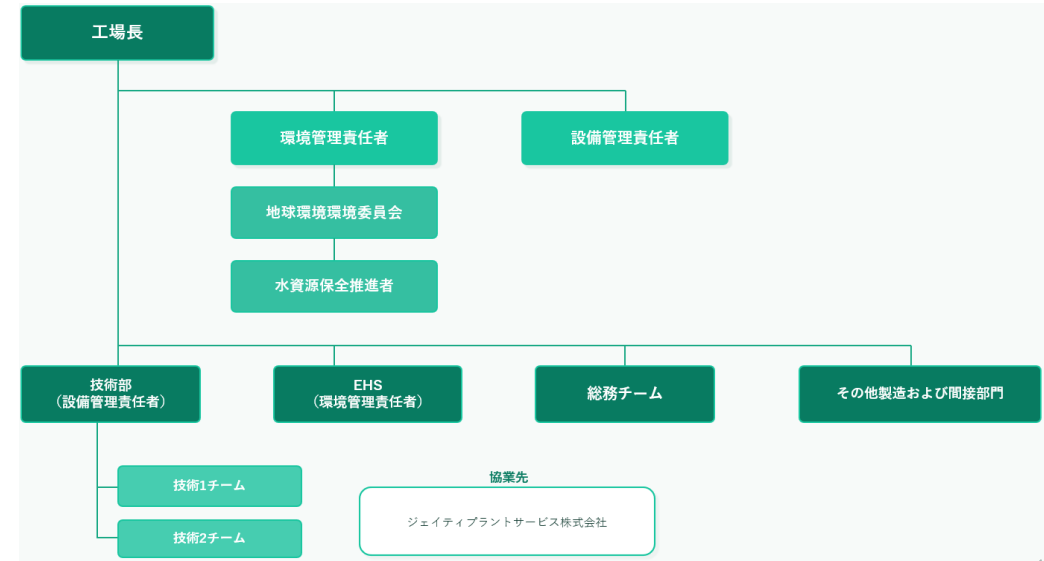
社員数

JT社員：約260名、グループ会社社員：約208名



サイトの管理体制

【水管理チーム組織図】



【役割と責任】

役職	担当	役割と責任
Factory Lead	-	・ 総括責任者 ・ 工場危機管理責任者
環境管理責任者	EHS	・ 水資源および環境法令順守責任者 ・ 利害関係者とのコミュニケーション責任者
設備管理責任者	技術部	・ 水使用量および施設管理責任者
水資源保全推進者	-	・ 水資源保全推進担当者

役割	責任者	工場長	EHS	技術部	総務チーム	JTPS
水使用量目標設定		I	A	R		
水使用量データ収集・管理				R		
排水管理			A	R		C
異常発生時（漏水・汚染）対応		I	A	R		C
行政報告		I	A			
水関連の法令・規則順守		I	R	R	A	

名称	略称	日本語	説明
Responsible	R	実行責任者	タスクの実行者
Accountable	A	説明責任者	タスクの説明責任者
Consulted	C	協業先	タスクを進める際の相談者
Infomed	I	報告先	タスクの進捗状況の報告先

計画の類別	目標		評価結果	協働活動
	目標	具体的な取り組み内容		
良好な水ガバナンス	【有効性/効率性/信頼と参加】 ・毎月の水関連実績の確認及び四半期毎の報告の実施 ・水使用量、水質、法令等の確認を毎月実施。また、四半期ごとには、各部のマネジメントに報告を行う。 目標：毎月の実績確認(全12回)及び四半期毎の報告実施(全4回) 上記目標を全て実施したことを以て目標達成(100%達成)とする。	EHSおよびEngineeringを中心に、月に1回、前月の水関連計画（水使用量、水質、法令等の報告）に対し実績の確認及び評価する。評価後、EHSおよびEngineeringで評価結果に対するアクションを必要に応じ実施、また四半期毎に開催する地球環境委員会にて各部マネジメントを招集し環境管理体制に基づきレビューを行い、結果を従業員へ周知する。 年1回、活動のサイクルが回っていることをマネジメントレビューで確認する。	2026年7月時点の結果 1～7月の各月の実績及び、全5回地球環境委員会を開催し、活動に対して運用サイクルが回っていることを確認	[サイト外関係者]無し [活動内容]無し [サイト内関係者]Engineering、EHS、JTPS保全担当 [活動内容]活動を維持継続するため、組織の活動内容を分析、整理を行い、水管理の運用サイクルを回す。
持続可能な水収支	【水使用量の削減】 最終目標： 2030年までに水使用量を2019年に対して35%削減 (2019年水使用量：82,824m3) 23年：65,672 m3 24年：52,199 m3 25年：50,425 m3 年次目標： 2026年目標：48,896 m3以内に収まることを以て目標達成(100%達成)とする。	水使用量および製造量のデータを収集し、水使用量の目標値（単月、累計）に対して、分析および進捗を確認、加えて水削減活動の進捗および効果を月次で確認する。 2026年度の削減Actionは以下となる ・冷水槽の清掃回数削減 ・空調機の清掃回数の見直し ・空調機の冷房運転時の再加熱停止 ・糊調整室の給湯器給水圧の見直し	2026年6月までの結果 目標(1-6月)：19,635 m3 結果(1-6月)：20,217 m3 毎月(～2026.6)/四半期毎(2026.4～)の地球環境委員会で目標対実績の分析、レビューを実施	[サイト外関係者]無し [活動内容]無し [サイト内関係者]サイト内の全従業員 [活動内容]現状、拠点が分布する地域では水使用量の削減等の方針は掲げられていないが、会社目標のため、取組みを継続実施。
持続可能な水収支	【水リサイクル】 2030年までに水リサイクル率を10%以上（維持） 2026年目標：19.6%（10%以上） 2026年の年間水リサイクル率を10%以上となったことを以て目標達成(100%達成)とする。	2030年までに水リサイクル率を10%とする（維持） ・排水処理後の再利用水を排気処理洗浄塔で使用	2026年6月までの結果 水リサイクル率 目標：10%以上 結果(1-6月)：28.6% 毎月(～2026.6)/四半期毎(2026.4～)の地球環境委員会で実績レビュー実施	[サイト外関係者]無し [活動内容]無し [サイト内関係者]Engineering、EHS、JTPS保全担当 [活動内容]現状、拠点が分布する地域では水使用量の削減等の方針は掲げられていないが、会社目標のため、取組みを継続実施。 現状、リサイクル率目標は達成しているが、さらなる水使用量削減活動を行い、会社目標への貢献及びリサイクル率向上のための取組みを継続実施。
良好な水質	【排水水質の担保】 排水処理管理目標設定 ・pH：5.8～8.6 ・BOD：20mg/L以下 ・SS：25mg/L以下 ・n-ヘキサン(動植物油)：10mg/L以下 ・n-ヘキサン(鉱油)：3mg/L以下 全ての規制値を超過しなかったことを以て目標達成(100%達成)とする。	測定業者に排水水質の測定依頼を実施。 また、傾向及び異常値管理として、排水処理にpH計等の測定器を設け日々の排水水質をモニタリング。 測定結果を集約し、毎月EHSにて確認を行う。 また、排水水質の測定結果は、半期毎に磐田市環境課に報告する。	2026年7月時点の結果 規制値超過は無し。 協定値内で管理できていることを毎月の水質実績より確認。併せて地球環境委員会でレビューを実施。	[サイト外関係者]磐田市環境水道部環境課 [活動内容]半期毎に環境測定実績の報告をしている。 [サイト内関係者]Engineering、EHS、JTPS保全担当 [活動内容]排水では、周囲への環境影響だけでなく、評判リスクが低下する可能性があるため、毎月排水水質測定を行い、問題ないことを確認できている。

計画の類別	目標		評価結果	協働活動
	目標	具体的な取り組み内容		
健全な淡水生態系 良好な水ガバナンス	【生態系に関する課題整理】 流域における生態系を調査し、サイトとして協力できる課題を明確にし、ステークホルダーと協働した取り組みを実施する。 目標：本年は課題整理と協働可能性の整理を目標とし、桶ヶ谷沼の保全活動参加へ2回以上参加したことを以て目標達成(100%達成)とする。	桶ヶ谷沼の保全(ベッコウトンボが生息): ・ベッコウトンボ観察会(4月) ・トンボ養殖用コンテナの高温対策作業(6月) ・桶ヶ谷沼の保全活動(12月)	2026年7月時点の結果 観察会4月：1人参加(4/26) 高温対策作業6月：1人参加(6/14) 保全活動12月：3人参加予定	[サイト外関係者]桶ヶ谷沼ビジターセンター [活動内容]桶ヶ谷沼の保全活動(新池創出)、ベッコウトンボ観察会、トンボ養殖用コンテナの高温対策作業を行い生態系保全への貢献につながる。 [サイト内関係者]Engineering、EHS [活動内容]桶ヶ谷沼保全活動に関する情報の共有。
安全な水・衛生設備・および衛生環境	【WASHの提供】 別途計画策定している清掃箇所に対して、計画通り清掃を実施し、衛生環境を維持する。 目標：計画通りに清掃を実施したことを以て目標達成(100%達成)とする。	年間計画通りに清掃作業を行い、衛生環境を維持する。また、毎月計画対実績に対して問題ないことを確認する。	2026年7月時点の結果 清掃箇所に対して、計画通り清掃を実施し問題ないことを確認。	[サイト外関係者]無し [活動内容]無し [サイト内関係者]GA、JTPS管理担当 [活動内容]衛生環境を確保するために清掃計画を策定し実施。
自然災害発生時の事業所・地域連携強化	【津波災害発生時対応整備（避難場所の提供）】 2027年2月を目途に、磐田市および関係自治会との津波災害時協定を締結する。 目標：2026年は社内運用フローの策定及び社内合意を以て目標達成(100%達成)とする。	2026年9月中旬のAWS認証監査までに、協定締結までのロードマップを提示する。 STEP1（～2026年11月中旬）：避難場所・受入条件・役割分担・社内運用フローを整理し、社内合意を得る。 STEP2（～2027年2月末）：磐田市への事前相談、協定案作成、関係自治会との調整、最終レビューを経て協定を締結する。	2026年7月時点の結果 マイルストーン案を作成。避難場所は工場事務棟の食堂を候補とし、平日日勤帯を基本に受入れを検討。夜間・休日の対応範囲、警備員の役割、鍵管理、責任範囲等を今後社内で整理する。	[サイト外関係者]磐田市、西之島自治会 [活動内容]自然災害時に地域住民の一時避難を可能な範囲で受け入れるための協定締結に向けた調整。 [サイト内関係者]GA [活動内容]自然災害時に地域住民の一時避難を可能な範囲で受け入れるための工場内の運用体制を整備。
流域における水資源の社会的・文化的・レクリエーション的価値への悪影響軽減	【安全な飲み水の確保および緊急時対応（避難地としての提供）】 ・飲料水水質検査の実施(行政:年1回/自主:年1回) ・雨水系統への香料流出を想定した対応訓練の実施(年1回) ・避難地として必要とされる内容整理のためのヒアリングを実施 上記目標を全て実施したことを以て目標達成(100%達成)とする。	・定期の行政の立入検査及び飲料水水質検査を行い、安全性を確認。 ・屋外香料室で香料が雨水系統への流出を想定し、遮蔽版の設置及びオイルフェンスと吸着マットの敷設を訓練として実施する。 ・磐田市危機管理課とコミュニケーションをとり避難地として対応すべき内容を確認し整理する。	2026年7月時点の結果 ・飲料水水質検査：1/21実施(行政)、異常無し。自主検査は11月実施予定。 ・雨水への香料流出を想定した訓練：実績無し。実行は10月実施予定。 ・避難地として必要とされる内容整理：実績無し。12月実施予定。	[サイト外関係者]磐田市危機管理課 [活動内容]避難地として必要とされる内容の確認を行う。 [サイト内関係者]GA、Engineering、EHS、Primary [活動内容]安全な水を提供するため、飲料水水質検査を実施。 雨水系統への香料流出を想定した緊急事態訓練は10月に実施予定。 避難地として必要とされる内容の整理を実施。

計画の類別	目標		評価結果	協働活動
	目標	具体的な取り組み内容		
持続可能な水収支	【市水供給停止への備え】 地震発生時の断水、市水供給配管老朽化による市水供給停止を想定し、初動対応、代替給水、人命保護、復旧までの役割分担を明確にする。 目標：2026年は市水供給停止時の初動含む操業判断に至る一連のプロセスの検討完了を以て目標達成(100%達成)とする。	・市水供給停止発生時にTeams危機管理チャットルームにて初動や操業判断を決定する。決定に際し、工場の受水槽・高置水槽の使用可能水量の確認を併せて実施する。 ・静岡県・年次で磐田市の水道施設更新計画を年確認する。	2026年7月時点の結果 実績無し。2026年9月より検討開始し2027年8月までに実施予定。	[サイト外関係者]無し [活動内容]無し [サイト内関係者]GA、Engineering、EHS [活動内容](発生時)拠点内の変災防備協議会をトリガーとし諸対応を実施。 ・静岡県・磐田市の供給配管情報を確認する。
良好な水ガバナンス	【流域ステークホルダーとの情報共有・連携体制強化】 平常時および緊急時に機能する連絡・協議体制を整備し、災害情報の早期把握と迅速な対応につなげる。 目標：2026年は災害・断水発生時の連絡体制の必要性に関するニーズ調査完了を以て目標達成(100%達成)とする。	磐田市や企業へのニーズ調査の結果に基づき下記取組を予定 ・磐田市環境保全推進協議会等を活用し、企業間で防災・BCP・断水対応等に関するベストプラクティスの情報交換を実施する。 ・災害発生時における行政、水道事業者、近隣企業等との連絡窓口を整理し、社内連絡体制を明確化し連絡先リストおよび役割分担の確認を実施し、必要に応じて更新する。	2026年7月時点の結果 実績無し。2026年9月より検討開始し2027年8月までに実施予定。	[サイト外関係者]磐田市環境保全推進協議会(会員企業含む)、磐田市危機管理課防災グループ [活動内容]平常時および緊急時に機能する連絡・協議体制の整備及び調整。 [サイト内関係者]GA、Engineering、EHS [活動内容]サイト外関係者より情報を受信した際の工場内の運用体制を整備。

当社のAWS水管理活動計画を含む、「責任ある水資源マネジメント」に関する取り組みへのご意見・ご質問・ご提案等がございましたら、以下よりご連絡ください。
お問い合わせの際は、「水管理に関するお問い合わせ」である旨と、対象となる事業所名をお知らせください。

■ メールでのお問い合わせ
[お問い合わせフォーム（「その他のお問い合わせ」をご利用ください）](#)

■ 電話でのお問い合わせ
電話番号：03-6636-2914（代表）
受付時間：平日9:00～17:40
休業日：土日祝日、創立記念日(6月最初の平日)、12月30日～1月4日

原則として1週間以内を目安に回答いたします。
なお、内容によっては回答までにお時間をいただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。